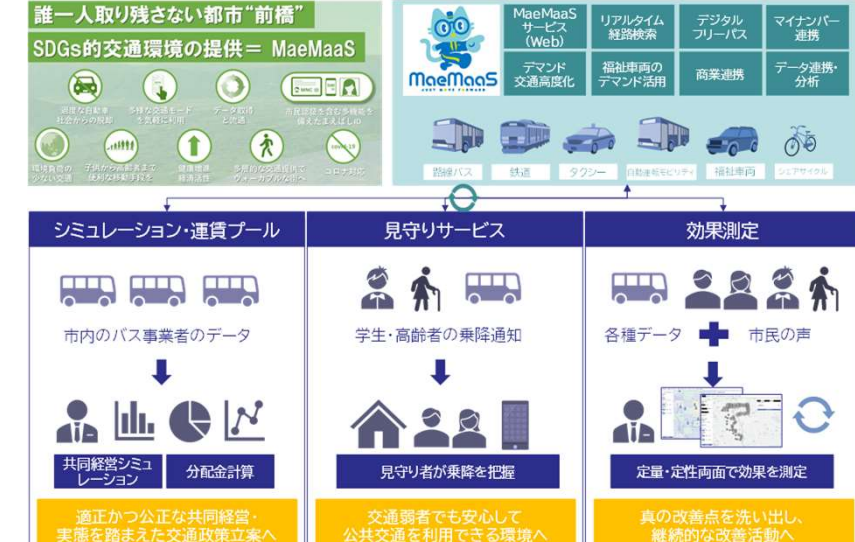


# MaeMaaS（前橋版MaaS）高度化事業

これまでの事業から継続して、地域公共交通の利便性向上及びMaeMaaSの高度化を実施する。今年度はMaaS実装時の課題となる「交通事業者間の利害調整」への対応策として共同経営シミュレーション・運賃プール分配を実装するとともに、誰もが安心して使える公共交通を利用できるよう、見守りサービスを実装。また、こうした新たな取り組みに対する効果測定機能を実装し、定量・定性両面での面的な改善を図る。なお、引き続きマイナンバーカード認証基盤との連携による割引等の運賃施策等を実施し、MaaS環境の構築による市民の公共交通に対する意識変容、社会受容性の検証を行う。

<b>協議会の構成員</b>	【幹事(事務局)】前橋市 株式会社NTTデータ、上毛電気鉄道株式会社、一般社団法人群馬県バス協会、前橋地区タクシー協議会、東日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構、株式会社未来シェア	<b>取組イメージ</b>											
<b>地域課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通の維持のための市の財政負担の増加</li> <li>● 高齢運転者による交通事故の増加</li> <li>● 交通空白地域の住民の外出機会の減少</li> </ul>	 <p>誰一人取り残さない都市“前橋” SDGs的交通環境の提供 = MaeMaaS</p> <p>共同経営シミュレーション・運賃プール 市内のバス事業者のデータ ↓ 共同経営シミュレーション / 分配金計算 → 適正かつ公正な共同経営・実態を踏まえた交通政策立案へ</p> <p>見守りサービス 学生・高齢者の乗降通知 ↓ 見守り者が乗降を把握 → 交通弱者でも安心して公共交通を利用できる環境へ</p> <p>効果測定 各種データ + 市民の声 ↓ 定量・定性両面で効果を測定 → 真の改善点を洗い出し、継続的な改善活動へ</p>											
<b>事業概要</b>	<table border="1"> <tr> <td>開始時期</td> <td>令和5年1月頃（サービス提供開始時期）</td> </tr> <tr> <td>エリア</td> <td>群馬県前橋市全域</td> </tr> <tr> <td>MaaSシステム</td> <td>JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し前橋版MaaS「MaeMaaS(マイマース)」としてwebサービスを提供。</td> </tr> <tr> <td>交通サービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線バス共同経営における各種シミュレーション・運賃プール分配の実装</li> <li>● 新しい取組み（共同経営・見守り・路線再編等）の定量・定性両面での効果測定の実装</li> </ul>                     ※以下の取組みは継続して実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供 経路検索（バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等）</li> <li>● デマンド交通の予約をMaeMaaSにより一元化</li> <li>● デジタルフリーパスの販売</li> <li>● 市民認証による前橋市民割引の提供（マイナンバーカード認証基盤と連携）</li> <li>● 介護車両共通プラットフォームとの連携。既存公共交通との利用者の棲み分けを明確に定義し、共存環境を構築</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>交通以外のサービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 見守りサービスの実装</li> </ul>                     ※以下の取組みは継続して実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供</li> <li>● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等の特典の付与</li> </ul> </td> </tr> </table>	開始時期	令和5年1月頃（サービス提供開始時期）	エリア	群馬県前橋市全域	MaaSシステム	JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し前橋版MaaS「MaeMaaS(マイマース)」としてwebサービスを提供。	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線バス共同経営における各種シミュレーション・運賃プール分配の実装</li> <li>● 新しい取組み（共同経営・見守り・路線再編等）の定量・定性両面での効果測定の実装</li> </ul> ※以下の取組みは継続して実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供 経路検索（バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等）</li> <li>● デマンド交通の予約をMaeMaaSにより一元化</li> <li>● デジタルフリーパスの販売</li> <li>● 市民認証による前橋市民割引の提供（マイナンバーカード認証基盤と連携）</li> <li>● 介護車両共通プラットフォームとの連携。既存公共交通との利用者の棲み分けを明確に定義し、共存環境を構築</li> </ul>	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見守りサービスの実装</li> </ul> ※以下の取組みは継続して実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供</li> <li>● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等の特典の付与</li> </ul>	<b>評価指標</b>	
開始時期	令和5年1月頃（サービス提供開始時期）												
エリア	群馬県前橋市全域												
MaaSシステム	JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し前橋版MaaS「MaeMaaS(マイマース)」としてwebサービスを提供。												
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線バス共同経営における各種シミュレーション・運賃プール分配の実装</li> <li>● 新しい取組み（共同経営・見守り・路線再編等）の定量・定性両面での効果測定の実装</li> </ul> ※以下の取組みは継続して実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供 経路検索（バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等）</li> <li>● デマンド交通の予約をMaeMaaSにより一元化</li> <li>● デジタルフリーパスの販売</li> <li>● 市民認証による前橋市民割引の提供（マイナンバーカード認証基盤と連携）</li> <li>● 介護車両共通プラットフォームとの連携。既存公共交通との利用者の棲み分けを明確に定義し、共存環境を構築</li> </ul>												
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見守りサービスの実装</li> </ul> ※以下の取組みは継続して実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供</li> <li>● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等の特典の付与</li> </ul>												
<b>事業目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前橋市が取り組んでいる交通再編を有効化し公共交通の利用者数増加に繋がるサービスとすべく検証を実施する。</li> <li>● 多様な交通モードが入り混じる前橋市において、各交通情報を一括して提供。わかりやすい情報案内環境を構築し、公共交通の利用促進とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【各種シミュレーション・運賃プール分配】</li> <li>● サービスの利用回数 18回（3回/1事業者）</li> <li>● 新規検討対象路線数 3路線</li> <li>● 利用者満足度 80%</li> <li>【見守りサービス】</li> <li>● 利用者数 200人</li> <li>● 利用者満足度 80%</li> <li>● 交通弱者が公共交通を選択した割合 5% ※サービスデータ管理画面及びアンケートにより実績を取得。</li> </ul>											
		<b>今後の方向性</b>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● バス以外の交通モードも併せた、MaeMaaS全体としての運賃施策（サブスクリプション等）・分配・乗り継ぎ施策の実現</li> <li>● 移動データ等の取得・連携・利活用の手法を確立させるための公共交通共通プラットフォームとして整備</li> <li>● 利用者が使いやすいシステム・環境の構築。公共交通そのものを便利に使えるようICTを活用</li> <li>● 複合的なデータ連携により新たなサービスを提供</li> </ul>											